



# 0<sup>ゼロ</sup>から創る奈良

奈良市長

2017.4.25 Vol.82

仲川げん

ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

TOPIC

## 開かずの踏切、解決に光

皆さんは西大寺駅西側の通称「開かずの踏切」をご存知でしょうか。正式には菖蒲池8号踏切と言いますが、車はもちろん人の往来でヒヤッとした経験のある方も多いのではないのでしょうか。国の改正踏切道改良促進法に基づく踏切安全通行カルテでは、「特に車や歩行者の通行量が多く、一時間当たり40分以上遮断されているもの」が「要改善」とされていますが、この踏切は最大52分間も閉まっています。踏切はそれ自体が事故の要因となるだけでなく、交通渋滞による生活への影響、また緊急車両の通行を妨げるなど、様々な問題を引き起こすことから、地元の長年の懸案事項でした。

これに対し奈良市では駅前の区画整理事業の一環として南北自由通路を設置することを昨年11月に発表、平成32年度末の完成を目指し近鉄とも工事協定を締結しました。この通路によりこれまで移動が困難だった高齢者

や障害者、ベビーカーの方はもちろん、自転車もエレベーターに乗せて駅の南北ロータリー間をスムーズに移動できるようになります。

一方、この南北自由通路はあくまでも緩和策であり抜本的に解消するには、より大がかりな対策が必要です。そこで先日、奈良県・近鉄と共に三社で記者会見を行い、西大寺駅周辺の今後の整備方針を共に検討する枠組みを新たに立ち上げました。協定書には駅以東の平城宮跡区間の検討も含まれますが、市としては何よりもまず、開かずの踏切対策につながる駅高架化を検討の俎上に載せることが出来たのが、大きな一歩だと考えています。近鉄の和田林社長の言葉をお借りすれば、正に「奈良の将来に関わる百年の計」。官民連携と県市の協働によって、長年動かなかった市政課題がまたひとつ、解決に向けて動き出しました。今後も将来を見据えた都市基盤の整備にしっかりと取り組んで参ります。

### 「ミニ集会」を開催いただける方を募集しています!

ご近所やご友人の皆さんをお誘いいただき、日ごろの街に対する想いを、仲川市長と膝を交えて本音で語り合いませんか。

仲川げん後援会では現在、ミニ集会を開催いただける方を募集しています。ご自宅など、奈良市内でしたらどちらでもご指定先までお伺いします。時間は30分から1時間程度とし、候補日をいくつかお知らせください。

少人数でも構いません。ぜひこの機会を活用して、あなたの想いをお聞かせください。

■ お問い合わせ、お申し込み先:info@nakagawagen.net(仲川げん後援会事務局まで)



# 活動報告

[17年2月～3月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信!

## 2月9日(木) 精神障害者医療費制度を二級まで拡大



精神障害の方の医療費助成制度を二級まで拡大。長い間我慢していた虫歯の治療に通えたとの声も届き、県精神保健福祉ボトムアップ連絡会の皆さんからは、全市民に感謝したいという言葉をお預かりしました。

## 2月16日(木) 帝塚山大学とふるさと納税連携に向けて



帝塚山大学の学生からふるさと納税の分析と提案を受けました。MBAホルダーの菅万希子准教授の指導により昨年は約3.5億円の経済波及効果があったと算出。4月より大学と組んで若者目線の新しい企画を立ち上げます。

## 2月23日(木) 手話サークル交流会に参加



横井雄一市議のご紹介で手話サークル鹿の会に参加。健聴者も「音声禁止」というルールの中で楽しく交流させて頂きました。手話言語条例の策定や高齢化するろう者の支援等宿題も頂きました。

## 3月10日(金) クリーンウォーキングin鴻ノ池に参加



皆で歩きながらゴミ拾いをしよう!という、自分の健康と社会貢献が同時に出来るイベント。私も東屋のペンキを塗りました。このような企画が職員から出てくるのが嬉しいです。

## 3月20日(月)「こども・若者サミット」に登壇



熊谷千葉市長、鈴木浜松市長、高橋水戸市長と共に奈良市の取組みを報告。前職時代に子どもの参画に取り組み、ニューヨーク市立大のロジャーハート氏を奈良に招き講演会まで企画した当事者として、実効性や事後検証の重要性を痛感。

## 3月29日(水) 奈良市子ども会議を開催



子ども達の熱心な提案に回答。公園で球技が出来るようルール作りを自治会長と協議する子、「美化促進重点地域」の名称を分かりやすく変えようという提案、教員にSNSいじめ対策の研修を、等の意見が出ました。

## 奈良市独自の防災教育、防災まちづくり大賞を受賞

平城西中学校区地域教育協議会が第21回防災まちづくり大賞を県内初受賞しました。この賞は、阪神・淡路大震災があったことから平成8年度に創設され、地域の取り組みを全国で紹介することで、災害に強い安全なまちづくりの推進を目的として実施されています。今回は、学校と地域・消防署・消防団が連携して取り組む幼小中11年間一貫の防火防災教育が評価されました。文科省の地域子ども教室から放課後子ども教室の流れを受けた奈良市独自の地域教育協議会が全中学校区で大活躍しています。

## 地域ミーティング開催、就任以来120回を超える

就任以来続けている地域ミーティングが、120回目を超えました。奈良市には小学校区を中心に50の自治連合会がありますが、地域ごとに課題や特色が異なります。行政に対する一方通行の要望ではなく、地域の課題や現状を共有し、お互いが出来ることを模索するのが狙いです。先日行われた帝塚山地区では、災害時の二次避難所に指定されている近大農学部との連携が提案されるなど、新たな気づきや発見も多々あります。今後も全地区で対話を続けていきたいと思っています。

## 仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1  
FAX:0742-26-0398

ボランティア  
募集中!

### ■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

